SILKY

Silky Aqua/Silky Curtain Aqua/Silky/Silky Curtain

シルキーアクア・シルキーカーテンアクア
シルキー・シルキーカーテン

ポール式
ワンポール式

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、当社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

タチカワブラインド

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

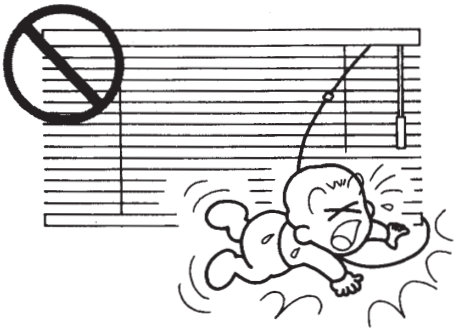
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない禁止の行為です。
	必ず実行していただく強制の行為です。

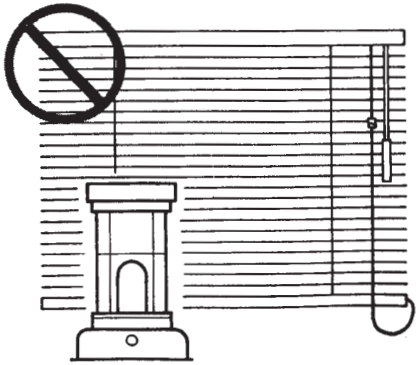
ご使用になる前にお読み下さい

警告

■お子様をコードで遊ばせないでください。コードが首や体に巻きつくなどして、思わぬ事故を招く恐れがあります。



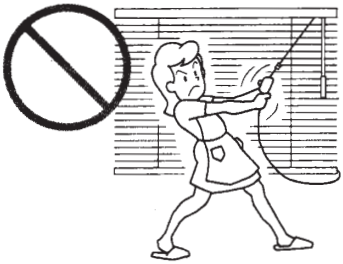
■暖房機などの火のそばではご使用にならないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。



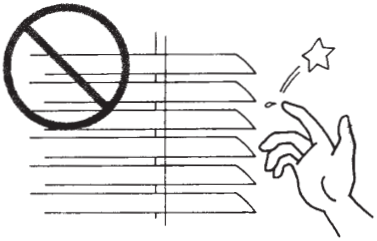
安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

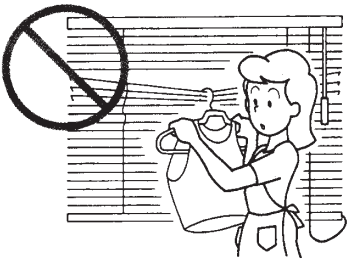
■製品やコード類にぶら下がったり、無理に引っぱったりしないで下さい。また、製品にものを掛けたりして無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。



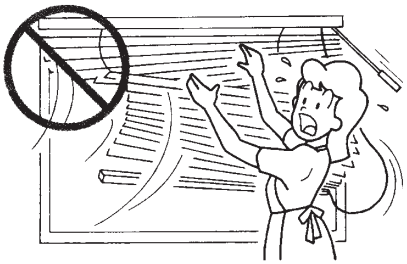
■スラット（羽根）は不用意に扱うと、手を切る場合がありますのでご注意ください。



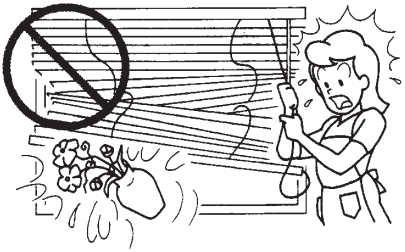
■本体の中（スラット）に手や足を入れないでください。内蔵部品によるケガの可能性があります。



■風の強い時は製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や、思わぬ事故につながることがあります。



■製品の動く範囲内に人や動きを妨げるものがないことを確認してから操作してください。けがをしたりものが破損する場合があります。



■この製品は屋内用として作られたものです。屋外での使用は製品寿命が極端に短くなりますので、お避けください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お取付けになる前にお読み下さい

警告

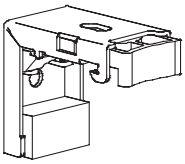
製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

注意

付属のブラケット取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。

本体取付け時には、ブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。
確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

付属部品

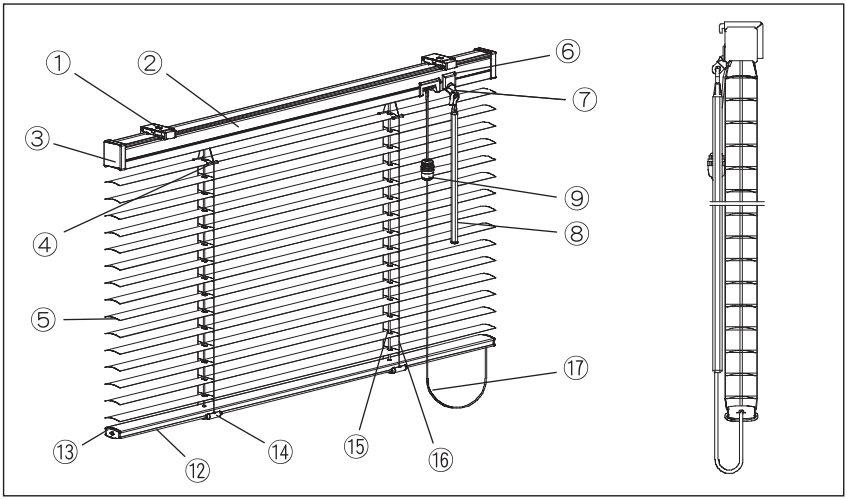
製品幅 ＼ 部品名称		部品名称	
		ブラケット	取付けビス（木部用）
			
シルキー シルキーアクア 25mm 幅	～1300mm	各2個 （2個）	
	1310～1500mm	各2個 （3個）	
	1510～1800mm	各3個 （3個）	
	1810～2700mm	各3個 （4個）	
	2710mm～	各3個 （5個）	
シルキーカーテン シルキーカーテンアクア 15mm 幅	～1200mm	各2個 （2個）	
	1210～1460mm	各2個 （3個）	
	1470～1800mm	各3個 （3個）	
	1810～	各3個 （4個）	

カッコ（　　）内はセパレートタイプの場合

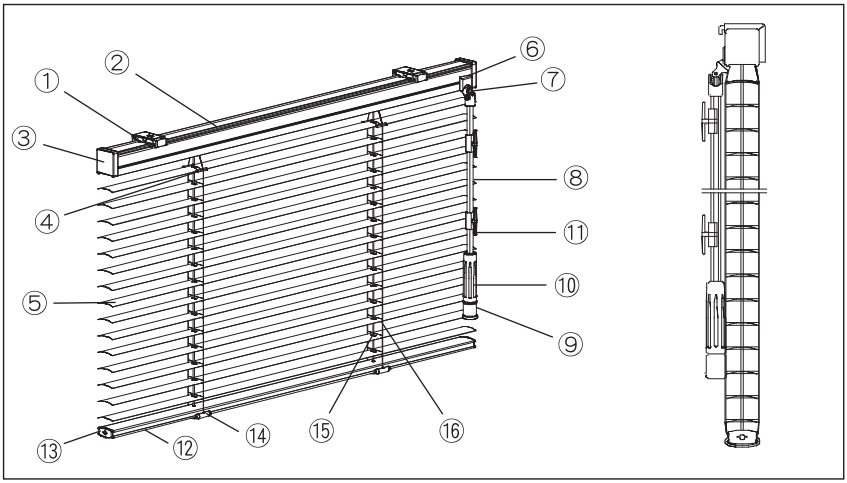
※製品発注時にレールビス（カーテンレール取付用）を頼まれた場合は、ブラケットと同数分同梱されています。
（専用のレールビス取付説明書付）

各部の名称

■ ポール式



■ ワンポール式



※製作寸法により、昇降コード本数、位置が変わります。

①ブラケット	⑦チルトギア	⑬ボトムキャップ
②ヘッドボックス	⑧ポール	⑭テープホルダー
③ボックスキャップ	⑨イコライザー	⑮昇降コード
④スラット押さえ	⑩グリップ	⑯ラダーコード
⑤スラット	⑪コードフック	⑰操作コード
⑥チルトカバー	⑫ボトムレール	

製品の取付けかた

1）製品の確認

製品の変形、破損、付属部品の不足がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄りの当社支店までご連絡ください。

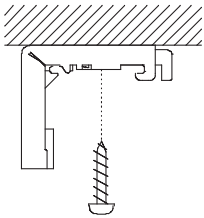
2）取付け下地の確認

・製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
・木部以外の下地に取付ける場合は、その下地に応じたビス、アンカー等をご利用ください。

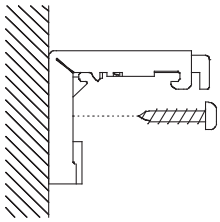
3）ブラケットの取付け

ブラケットの取付けかたには「天井付け」と「正面付け」があります。

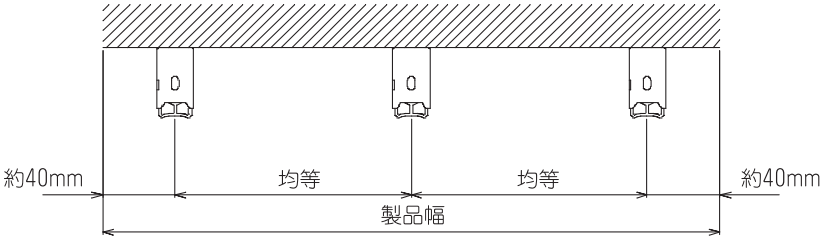
■天井付け（窓枠内に取付ける場合）



■正面付け（窓枠を覆う場合）



①ブラケットは、製品の左右からそれぞれ約40mmの位置にサインペン等で印を付けてください。ブラケットの数が3個以上の場合は、ブラケット間隔が均等になるように位置を決めてください。印は一直線上になるように付けてください。



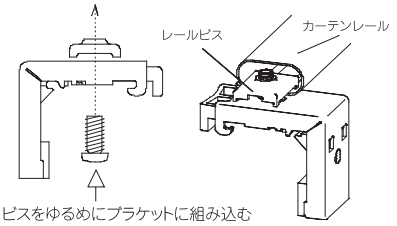
②ブラケットを付属の取付けビスでしっかりと固定してください。

③ブラケットが確実に固定されていることを確認してください。

■カーテンレールへのブラケットの取付けかた（レールビス使用：製品発注時に指定の場合同梱）

別紙「レールビス取付説明書」に詳しく記載しています。

1. カーテンレール内のランナーを全て抜きます。
2. 右図のようにブラケットに組み込んだレールビスをカーテンレールに通します。
3. カーテンレール内にレールビスをスライドさせ位置を決めた後、ビスをドライバーで完全に固定してください。



製品の取付けかた

4）製品本体の取付け

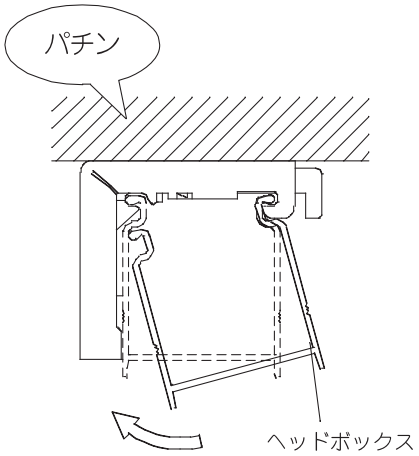
①製品を完全にたたみ込んだ状態のままにし、束ねているコード類はほどいてください。

②製品を両手で持ち、ヘッドボックス手前のツメをブラケットの手前のツメに引っかけます。

③引っかけた状態で左右の位置を決めます。

④取付け位置が決まったら、ヘッドボックスを右図のように奥側に押し上げてください。ブラケットのツメがかかると「パチン」と音がします。

⑤ヘッドボックスが確実に固定されているか確認してください。
・セットした時に「パチン」と音がしたか。
・ヘッドボックスがぐらぐらしていないか。



⚠ 注意

本製品取付け時には、製品が確実に固定されていることを確認してください。
確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。

■ブラインド高さ調整機能（高さを短い方向に微調整できる機能です。）

窓枠の下部にボトムレールがあたってしまう場合の対策など、ブラインドの高さを短く微調整したい場合に便利な機能です。
（用意するもの）コイン･硬貨　※工具不要

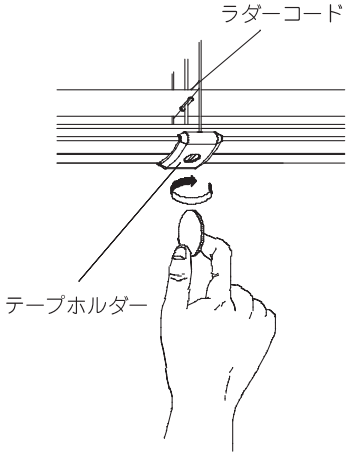
1. テープホルダーのダイヤルにコインを差し込み右に回転させると製品の高さを縮められます。

ダイヤル1／4回転で約5mm

高さを確認しながら少しずつ調整をしてください。

ラダーコードの横糸を切断すると下記の寸法まで短く調整することができます。
スラット幅 15mmの場合約 20mm
スラット幅 25mmの場合約 50mm

2. 調整の際は、ダイヤルの付いている全てのテープホルダーを同じ分回転させて高さを合わせます。



製品の取付けかた

5）ポールの取付け

操作方式には「ポール式」と「ワンポール式」があります。

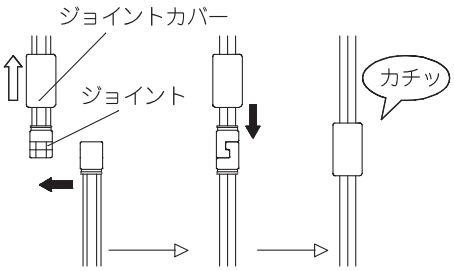
（ポール式の場合）　付属のポールをチルトギアにセットしてください。
（ワンポール式の場合）　ポールは製品本体にセットされています。

ジョイントポール付きの場合は、下記の手順に従って組み立ててください。

1.ジョイントカバーを上げてジョイント同士をセットします。

2.ジョイントカバーを右図のように「カチッ」と音がするところまで下げてください。

3.ジョイント部分が外れないことを確認してください。

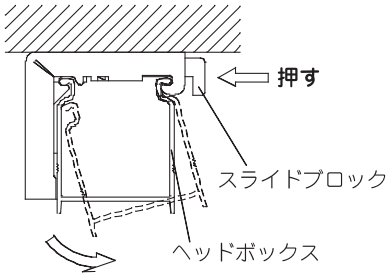


製品の取外しかた

① 製品を完全にたたみ込んだ状態にします。

② 製品を手で支えた状態でブラケットのスライドブロックを押すと、ヘッドボックス後ろ側のロックが解除され、前面のツメだけが引っかかった状態になります。

③ ②の状態からヘッドボックスを少し持ち上げるようにして、製品を取外してください。



注意

スライドブロックを押す時は、必ず製品本体を手で支えながらおこなってください。製品が落下し思わぬけがをすることがあります。

操作のしかた（ポール式 の場合）

ブラインドの昇降のしかた

スラットは必ず水平の状態にして昇降操作をおこなってください。

■ブラインドを上げる場合
操作コード（もしくはイコライザー）を下に引くとブラインドが上がります。

■ブラインドを止める場合
操作コードを少し外側に引くと、その位置で止まります。（図1参照）

■ブラインドを降ろす場合
操作コードを少し内側に引き、コードを持ったままゆっくりとブラインドを降ろしてください。（図2参照）

図 1

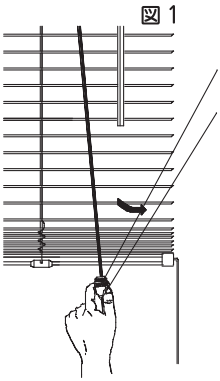
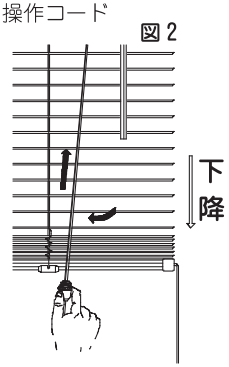


図 2



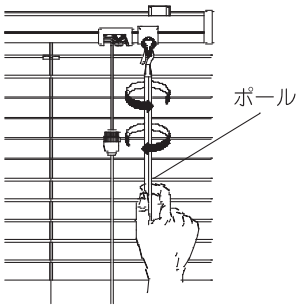
⚠ 注意

ブラインドを下げる場合は、必ず操作コード（もしくはイコライザー）を持って操作をしてください。手を離すとブラインドが勢いよく下降し、けがや破損の原因となります。ブラインドが止まるまでは、コードから絶対に手を離さないでください。

スラット（羽根）の角度調整のしかた

ポールを図のように回すとスラット（羽根）が回転し、採光量を調節することが出来ます。

セパレートタイプの場合
スラット（羽根）の角度調整は、左右一斉の操作となります。
昇降は左右別々に操作できます。



操作のしかた（ワンポール式 の場合）

ブラインドの昇降のしかた

昇降動作のストッパー機構は、昇降コード（もしくはイコライザー）を引くごとにロックと解除を繰り返す仕組みになっています。尚スラットは必ず水平の状態にして昇降操作をおこなってください。

■ブラインドを上げる場合

操作コード（もしくはイコライザー）を下に引くとブラインドが上がります。
（図1参照）

注意

ブラインドを上げると上げた分の昇降コードが引き出されます。引き出されたコードは邪魔にならないようコードフックに掛けてください。

■ブラインドを止める場合

再び昇降コードを下に引くとその位置で止まります。

■ブラインドを降ろす場合

コードフックから昇降コードを外します。昇降コードを少し下に引き、コードを持ったままゆっくりとブラインドを降ろしてください。
（図2参照）

図1

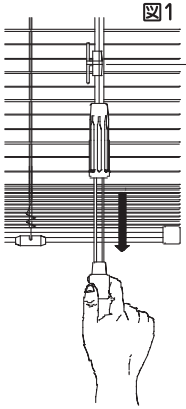
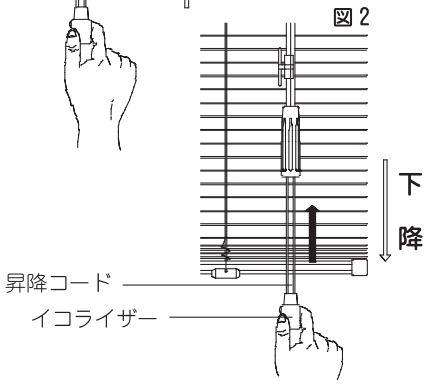


図2



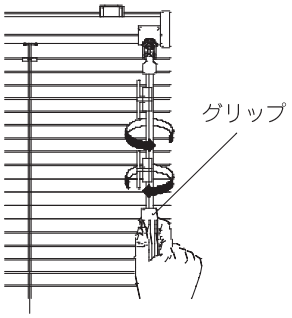
注意

ブラインドを下げる場合は、必ず昇降コード（イコライザー）を持って操作をしてください。手を離すとブラインドが勢いよく下降し、けがや破損の原因となります。ブラインドが止まるまでは、コードから絶対に手を離さないでください。

スラット(羽根)の角度調整のしかた

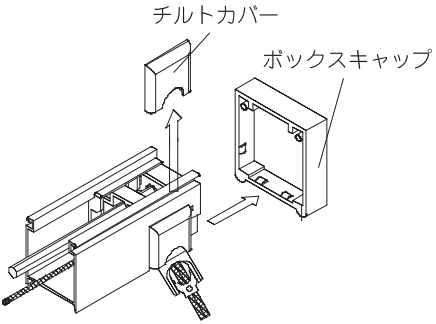
グリップを右図のように回すとスラット（羽根）が回転し、採光量を調節することが出来ます。

セパレートタイプの場合
スラット（羽根）の角度調整･昇降は、左右別々に操作できます。

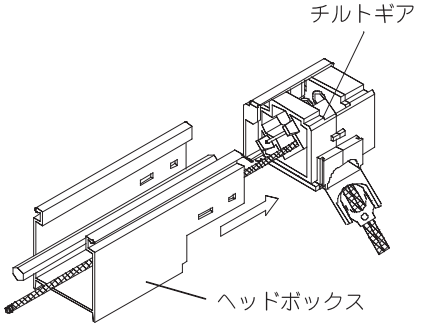


左右転換機能（ワンポール式 のみ）操作の位置が換えられる機能です

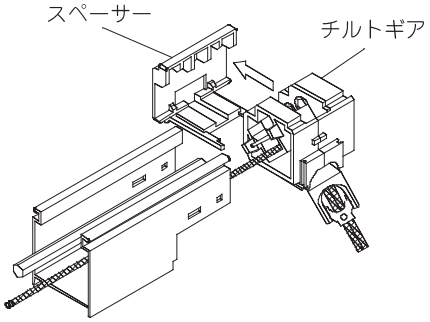
1.操作側のボックスキャップとチルトカバーを外します。



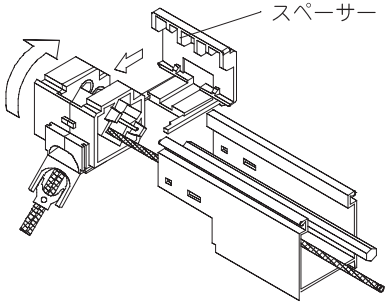
2.ヘッドボックスからチルトギアを引き出します。



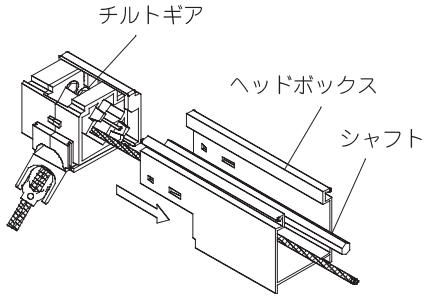
3.チルトギア裏面に付いているスペーサーを外します。



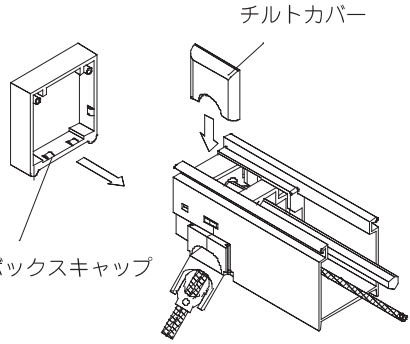
4.チルトギアを矢印の方向に90度回転させ、チルトギア裏面にスペーサーを取付けます。



5.チルトギアをヘッドボックスに差し込みます。シャフトはチルトギアに2つある穴のうち上の穴に通します。
※この時コードのネジレ･からみに注意してください。



6.チルトカバーとボックスキャップを取付けて完了です。



お手入れのしかた

●日頃のお手入れは、羽根バタキ等でほこりを取り払ってください。
●油気の多いところでは、汚れをこまめに拭きとってください。
●汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めたものをご使用ください。また洗剤を使用した後は必ず水拭きをして、洗剤成分をきちんと拭きとってから乾かしてください。尚、住宅用中性洗剤の中には洗浄力が強いものも多いので、ブラインドのお手入れには、塗装膜保護のため台所用洗剤をおすすめしています。
●シルキー・シルキーカーテンはボックス部分が耐水仕様ではないので、丸洗いは絶対にしないでください。サビや故障の原因になります。
（シルキーアクア・シルキーカーテンアクアは耐水仕様なので丸洗いできます）

こんなときは

状　況	処　置
ブラインドが降りないとき ストッパーが解除できないとき	商品出荷時には昇降コードが強く引かれてストッパーが固定されています。イコライザーを引きながら、昇降コードを1本ずつ下に引くと、ストッパーが解除されて通常通りに操作ができます。
ブラインドの高さを縮めたいとき ボトムレールが下に当たってしまう時	高さ方向に短く微調整ができます。6ページに記載している手順に従って調整してください。
操作位置の左右を変えたいとき	ワンポール式の場合は、操作部の左右転換機能が付いています。10ページの手順に従って変更してください。

保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

取扱い説明書に記載の正常なご使用状態で、万一故障した場合は、お買い上げ年月日より1年間は無償修理をさせていただきます。

※次のような場合は保証期間内でも有料となります。
・取り付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。

修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申しつけください。
お買い上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店までお問い合わせください。

立川ブラインド工業株式会社
本社：〒108-8334　東京都港区三田3丁目1番12号　TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

R100 PRINTED WITH SOY INK
この印刷物は、環境に配慮し古紙配合率100%の再生紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用しています。

2005.4
917164-0000